

# 研究報告書

学校名 恩納村立安富祖小学校

## 1 研究主題

「ふるさとの良さに気づき、守り継承する児童の育成」  
～地域の自然や人材を生かした体験的・探究的な活動を通して～

## 2 主題設定の理由

今日、地球温暖化や生物多様性の喪失といった国際的な社会問題が深刻化する中、児童一人ひとりが「持続可能な社会の創り手」となるための資質・能力を育むことは、現代の学校教育における最重要課題である。文部科学省の学習指導要領においても、多様な人々と協働しながら社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓く力の育成が求められている。本校では、SDGsを単なる学習目標ではなく、これからの時代を生き抜くための「生きる力を育む教育」であり、「未来の地球人を創る教育」そのものであると捉えている。

本校が位置する恩納村は、2018年に「サンゴの村宣言」を行い、2019年には「SDGs未来都市」に選定された豊かな自然と文化が共存する地域である。しかし、学校に隣接する沖縄海岸国定公園の「熱田ビーチ」や村内唯一の「水田」といった、かけがえのない自然環境は、海水温の上昇によるサンゴの白化現象や畑からの赤土流出といった深刻な危機にさらされている。こうした地域の「豊かさ」と「危機」の両面を、児童が知識としてではなく「自分事」として捉え、行動へ繋げていくことが、教育的使命である。

この目的を達成するための鍵が、サブテーマに掲げる「地域の自然や人材を生かした体験的・探究的な活動」である。本校では、教室内での知識伝達を超え、地域の海と山をはじめとした地域社会全体を「学びの場」として活用している。具体的には、地域の農家や海の案内人、大学教授、行政、そして地元企業などの多様な人材を、児童に「本物の学び」を提供する「生きた教材」として教育課程に位置づけている。

伝統行事「浜下り」での生き物観察や水田での稲作体験、サンゴの生態系学習といった体験的な活動は、児童が五感を通してふるさとの良さに気づく基盤となり、これらの体験から得た気づきを「SDGsパスポート」や「SDGsフォト展覧会」を通じた課題発見、さらには解決策を自ら考え発信する探究的な活動へと深化させていく。この一連のプロセス、すなわち地域人材とのパートナーシップに基づいた「体験」から「探究」への広がりこそが、児童の主体性や協働性を育むと考える。

地域の誇りである自然環境と、それを守り継ぐ情熱を持った人材を学習の核に据え、教師・児童・地域が三位一体となって持続可能な社会を築いていく。このような安富祖小学校ならではの挑戦を通じ、ふるさとの価値を正しく理解し、その未来を主体的に切り拓く安富祖っ子の育成を目指し、本主題を設定した。

### 3 研究実践の主な内容

#### (1) 研究方針

##### ① 全校体制のカリキュラム・マネジメントの継続

研究主題・方針を全職員で共有し、生活科や総合的な学習の時間を核として、全教科・行事・学校活動を SDGs の 17 目標と体系的に関連付ける。その際、「ESD カレンダー」を活用し、学びを計画的に推進し、可視化する。

##### ② 地域の自然・人材を活用した体験学習の充実

地域の自然環境や、行政、専門機関、企業、人材といった多様な地域素材を「生きた教材」として活用するフィールドワークを継続的に実施する。児童は、地域社会の様々な立場の人々と交流し、多面的・多角的な視点から環境課題を学ぶ。

##### ③ 「自分事」として捉える探究的な学びの深化

児童が身近な環境課題を発見するプロセスを重視し、発見した課題について「解決のために何ができるか」を自ら考え、行動に移す探究的な学びを実践する。また、「SDGs パスポート」や「SDGs フォトコンテスト」を通じて、主体的な活動の記録と発信を促す。

#### (2) 研究実践

##### ① 全体での実践

	活動内容
1 学期	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 浜下り（地域：海の案内人 兼箇段さん、佐渡山さん）</li><li>・ 伝統菓子（三月菓子）作り（地域：當山さん、佐渡山さん）</li><li>・ なかよし班（縦割り班）顔合わせ、活動スタート</li><li>・ フラワーデー活動スタート</li><li>・ SDGs パスポート活用講演会</li><li>・ ビーチクリーン①（熱田ビーチ）</li><li>・ キャリアデー（職業人講話・体験）</li><li>・ SDGs フォトコンテスト</li><li>・ 稲刈り（地域：當山幸宏さん）</li></ul>
夏休み	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ESD カレンダー見直し・確認（校内研修）</li></ul>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ビーチクリーン②（熱田ビーチ・海洋プラスチック集め）</li><li>・ 信州 SDGs アワード実践報告会参加（校長、SDGs 担当肥田・宮崎、6 年児童）</li><li>・ 「安富祖っ子米」販売（恩納村役場）</li></ul>
3 学期	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 県 SDGs 研究報告会</li><li>・ 安富祖っ子文化祭</li><li>・ ビーチクリーン③（熱田ビーチ）</li><li>・ 田植え（地域：當山幸宏さん）</li></ul>

## 4 成果と今後の課題

### (1) 成果

- ① 継続的な体験的・探究的な活動を通じ、「自分たちの海を守りたい」「ふるさとが好き」という主体的な態度が育っている。
- ② 行政、企業、住民など多様な地域人材が教育に参画し、教師-児童-地域が三位一体となった学習文化が形成された。
- ③ 児童会活動の活発化や、教職員の指導観の探究型への転換が見られる。

### (2) 今後の課題

#### ① 探究の質の向上

児童が自ら課題を設定し、解決に向けた活動を創り出す、より主体的な「子どもに委ねる学び」の機会を一層充実させる。

#### ② 実践の継続性

学校で培った意識を家庭や日常生活での具体的な実践（省エネ、ゴミ分別など）に繋げる働きかけを強化し、持続的な実践力を育成する。

#### ③ 連携の深化

地域側のニーズと学校の学びをマッチングさせ、恩納村全体の持続可能な発展に貢献できる人材の育成に尽力する。



5 令和8年度 SDGs 研究実践計画

	活動内容
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ESD カレンダー確認、見直し（校内研修）・・・春休み</li> <li>・ なかよし班（縦割り班）顔合わせ、活動スタート・・・4/13（月）</li> <li>・ 浜下り（地域：海の案内人 兼箇段さん、佐渡山さん）・・・4/17（金）</li> <li>・ 伝統菓子（三月菓子）作り（地域：當山さん、佐渡山さん）・・・4/17（金）</li> <li>・ フラワーデー活動スタート・・・4/22（水）</li> <li>・ ビーチクリーン①（熱田ビーチ）・・・6/18（木）</li> <li>・ 稲刈り（地域：當山幸宏さん）・・・7月上旬</li> <li>・ SDGs フォトコンテスト・・・1学期中</li> </ul>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビーチクリーン②（熱田ビーチ）・・・11/11（水）</li> <li>・ キャリアデー（職業人講話・体験）・・・11/25（水）</li> <li>・ 「安富祖っ子米」販売（恩納村役場）・・・12月上旬</li> </ul>
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビーチクリーン③（熱田ビーチ）・・・1/21（木）</li> <li>・ 学年成果発表会（県 SDGs 研究報告会）（授業参観）・・・2/5（金）</li> <li>・ 田植え（地域：當山幸宏さん）・・・3月上旬</li> </ul>